

旧広島市民球場 跡地計画における活用ビジョン



広島平和音楽博物館



フードバザール広島

2012年2月3日

広島市中区紙屋町 紙屋町2丁目町内会

旧広島市民球場跡地計画における活用ビジョン



広島平和音楽博物館

平和都市ヒロシマから世界中のアーティストに呼びかけて、
平和のシンボル「音楽」をテーマにしたミュージアムの構築へ。

■ヒロシマから世界へ、平和の願いをこめて。

いつの時代も、音楽は人々の心に響き、国境や民俗を越えて感動の輪を拡げてきました。そして数多くの音楽アーティストたちが、音楽に託して平和のメッセージを創造し、送っています。

本案は、日本国内はもとより世界中のアーティストに賛同と協力を呼びかけて、平和都市ヒロシマにふさわしい施設として平和をテーマにしたワールドミュージックミュージアム（博物館）の構築をめざすものです。

ワールドワイドなムーブメントを巻き起こし、計画の初期段階から話題化を図り、ヒロシマの願いを世界に発信します。

■平和記念公園と一体になった動線で新たなにぎわいを創出。

旧広島市民球場はスポーツの感動を、全国レベルで発信してきました。そうした記憶に残る地に、新しく人々が集い、交流する施設が誕生することは誠に意義深いものです。世界で唯一の存在となるであろう「平和をテーマにした音楽ミュージアム」は、平和記念公園と一体になって新たな動線を創り、本エリアの新しいシンボルとして、来広者の拡大に寄与するものと考えます。

■2013年「ひろしま平和発信コンサート」を迎えて。

広島県では奇しくもこの旧広島市民球場をメイン会場として、2013年夏に「ひろしま平和発信コンサート」を開催します。国内外のトップアーティストの出演も予定されており、「スポーツの地から、音楽の感動の地へ」と新たな歴史が刻まれるもので、まさに本案にとっては最高のプロローグとなるものと期待されます。

<施設の主な機能>

■エキシビション

展示 コーナー



世界中のアーティストから寄贈された楽器、楽譜、ファッションなど貴重なコレクション

●このミュージアムの中心となる機能です。

世界中のアーティストたちに協力を呼びかけて寄贈された貴重なゆかりの品々を展示します。。

- ・楽器、楽譜、ディスク、ステージファッション
- ・写真、ご本人の直筆メッセージ、サイン そのほか

■ライブラリー

視聴覚 コーナー



平和と音楽をテーマに、音と映像を楽しんでいただく体験型のコーナーを構成

●平和を願うクラシックの壮大な交響曲からロック、エスニックな伝統の歌など。平和と音楽をテーマにした数多くの音と映像を収集し、鑑賞できるコーナーです。

●また、世界中のアーティストによる平和都市ヒロシマへのビデオ・メッセージも収集し、鑑賞していただけます。

■パフォーマンス

多目的 ホール



時にはヒロシマを訪れた世界的アーティストが出演する、平和の祈りを奏でる場

●平和記念公園に直結したロケーションを活かして、有効な活用が期待される多目的ホールです。

- ・国内外のアーティストによる平和を祈るパフォーマンス
- ・平和公園を訪れた児童学生による合奏、合唱そのほか

●また、平和をテーマにしたギャラリー（写真、絵画、文献など）としての活用も考えられます。

<所蔵コレクションのイメージ>



■直筆サイン
(指揮者・小澤征爾氏)



■直筆サイン
(チェリスト・ヨーヨーマ氏)



■ギター
(エリック・クラプトン氏)



■ゴールド・ディスク



■写真・メッセージ
(U2、ボノ氏)



■アート作品
(オノ・ヨーコ氏)

<施設の展開イメージ>

(本館) ●展示コーナー

●視聴覚コーナー

●多目的ホール

(付帯施設) . . . ○ミュージアム・カフェ

○ミュージアム・ショップ

◎大型駐車場 (* 平和記念公園の来場者向けにも共用)